

野洲市資料提供

提供年月日	平成30年3月27日
担当部課	市民部 生活安全課
担当者名	左橋、井狩
連絡先電話番号	077-587-6089

「野洲市コミュニティバス運行等見直し(案)」に係るパブリックコメントの結果について

閲覧及び意見募集期間

平成30年2月1日(木)～ 平成30年2月20日(火)

意見提出件数

7件(意見件数15件)

	意見の概要	市の考え方
①	野洲市民の利用も多い野洲駅から「守山ほたるの湯」へのバス区間が存在しないので検討して頂きたいです。 駅前に「野洲ほほえみの湯」があったときの盛況を考えるに、車を持たない市民の一定数需要はあるのではないかと思います。 この区間は日中以降夜間まで便があると尚良いと思います。	ご意見の利用者の需要という観点から考えますと、一定の利用者が見込めると考えます。 しかし、「守山ほたるの湯」は、野洲市外にある施設です。野洲市コミュニティバスは、市が有償で旅客運送を提供する市町村運営有償運送という種別のバスであり、運行区域は市内に限定されます。このため、ご意見の施設は運行範囲の対象外となります。
②	料金について、ICOCA等の交通系ICカードで支払いが出来る読み取り装置がバスにあれば尚良いと思います。	利用促進策の1つとして、ご指摘のICカードの導入は有効な方策の1つと考えます。 しかし、ICカード導入には、導入費が高額になることから、今回の運行等の見直しと併せた導入はできません。
③	平和堂、イオン いつもおのりやすを利用しています。 イオンからの帰り、中央循環コース 市民サービスセンターから生和神社間、一度も利用者なしです。大変無駄に思います。	ご意見の路線については、乗降調査、自治会アンケート調査を踏まえ、路線編成を行っており、当該路線は存続します。
④	北桜から三上小学校前を利用しています。 今回の案では、交通手段がなくなり、最悪近江富士団地近くまで歩くことになることから、下記の提案をさせていただきます。 三上コースの“起点”を“北桜”にしてもらいたい。	これまでの三上コースは、三上地域を1周する長い路線で、利用者によっては、目的地まで遠回りとなっているような状況のため、路線再編の考え方に基づき、路線を分割し、所要時間の短縮を優先した案としていましたが、ご意見を踏まえ、公益性のある施設への利便性を勘案し起点を北桜とします。

	意見の概要	市の考え方
⑤	<p>新三上コースにおきまして、2コースに分離され運行本数を増やす計画は、大変結構なことと受け取っています。</p> <p>しかし、肝心なところは、どのようなダイヤが構成されるかです。野洲駅から近江富士団地の奥まで帰る場合、現在は16時43分が最終便でありにも早く無くなり、電車を利用して出かけ帰ってくる場合には非常に不便です。</p> <p>運行時刻表の決定前に住民の意見を十分聞いていただいての提案をお願い致します。</p>	<p>野洲市コミュニティバスの運行時間帯は、乗務員の確保、運行経費の抑制の関係から8時台～17時台までとしています。この時間帯の中で、可能な限り最終便が遅く出発できるように、各コースともダイヤを調整する予定です。</p> <p>また、三上コースについては、滋賀バスが路線バスを同様のコースを運行しており、夕方以降の遅い時間はこちらのバスの利用をお願いします。</p>
⑥	<p>私たちの地域は高齢化がこれから更に進みます。</p> <p>コミュニティバスが充実していれば、利用者は増える一方と考えられます。</p> <p>さらに、高齢による運転免許証の返還も安心してでき、交通事故の予防にも貢献できます。</p>	<p>ご意見のとおり、高齢化が進むとともに、免許返納も併せて更に増加すると考えています。</p> <p>市としても、今後免許返納者の移動手段としてコミュニティバスの利用促進を図れるよう、今回、新たに2路線を追加するなど、できる限りニーズに対応した路線見直し案としています。</p>
⑦	<p>安治コース又はあやめコースに須原自治会館前から乗降出来ますよう、コース変更の検討をお願い致します。</p> <p>(理由)</p> <p>1)須原自治会住民も他の自治会同様に、高齢者が大変多い。</p> <p>2)友愛訪問時、交通機関の不便さを訴える高齢者がいる。</p> <p>3)向こう三軒両隣精神で助け合っている人が現在もいるが、助ける人も高齢者にて、長期間には無理がある。</p>	<p>バス停の位置は市内の各地区に1か所以上設置するようにした上で、バスの走行する道路や運行時間等から総合的にルートを設定しています。</p> <p>このような考え方のもとで、須原については、地域の入り口部に須原口のバス停を設置しています。</p>
⑧	<p>三上コースを中心に他のコースも利用しながら行動しています。最大の懸念は再編案の三上コースと新しくできる希望ヶ丘コースが駅と南桜で分かれることです。</p> <p>図書館往復はほとんど毎週利用していますのでもし野洲駅で乗り継ぎをしながらですと片道で1時間ぐらいかかることになると予想されます。南桜まで歩いて行って希望ヶ丘コースに乗って行けないこともありませんが歩いて15分ぐらいかかりますので今は歩けませんがこれから年齢を重ねると難しくなることは明白です。</p> <p>希望ヶ丘コースの近江富士団地への延長を強く希望いたします。</p>	<p>これまでの三上コースは、三上地域を1周する長い路線で、利用者によっては、目的地まで遠回りとなっているような状況のため、路線再編の考え方に基づき、路線を分割し、所要時間の短縮を優先した案としていましたが、ご意見の希望ヶ丘コースの起点については、公益性のある施設への利便性を勘案し、起点を近江富士団地とします。</p>
⑨	<p>現在の乗り継ぎ制度は継続されるのでしょうか、また乗り継ぎの時間は少なく調整できるのでしょうか。例えば図書館へ行く場合編成案では野洲駅で乗り換えて行かなくてはならないこととなります。私の現在の乗り継ぎ停留所は健康福祉センターやアルプラザ野洲、また駅ですがそこでは時間の調整をする場所があります。</p> <p>そのような点では南桜が乗り継ぎ場所となるのは利便性がありません。</p>	<p>路線見直し後も、乗継を1回までは無料とし、現行の制度を継続します。</p> <p>ご意見のとおり、南桜はバスを待つ施設がないことから、路線を一部変更し、すべての路線の起点となる野洲駅を乗継拠点とします。</p> <p>すべての路線間で乗継を考慮するダイヤとすることは難しいですが、三上コースと希望ヶ丘コースについては、朝・夕の時間において、乗継の時間をできる限り短くしたダイヤを設定する予定です。</p>

	意見の概要	市の考え方
⑩	<p>現在の制度で不便な思いをしていることを一点。乗り継ぎ拠点が現在の健康福祉センター、野洲駅ですが健康福祉センターと共に図書館を加えて頂きたいと思えます。図書館からは車が全然止まってくれない道路を渡らなくてはいけないので高齢者にはかなり危険です。</p>	<p>健康福祉センターと図書館は移動距離も短く、健康福祉センターと図書館両方を乗継拠点にすることは難しいと考えています。</p>
⑪	<p>パブコメは2月1日の広報で知らせ、20日締切でした。しかし、見直しの内容を見ると、整合性のないところが色々あり、2月2日、当局に聞くと、業者が出した内容を、市担当が見直さず、そのまま出されていることがわかりました。担当課は訂正し3日には議員や各コミセンなど公表した内容を訂正したものが出されました。</p> <p>パブリックコメントの全国的な状況を見ると、30日間を採用しているところが多いです。野洲市の場合、ほとんどが20日間です。今回のように、1日広報でお知らせをして、3日に訂正をするような状況であるならば、17日間となります。しかも3日に訂正したことを知らせることもなく、1日に資料を見た方は、コメントが代わることとなります。</p> <p>現在のような対応では、市民の声を聞き施策に反映する姿勢が欠如していると思えますが、改善を求めます。</p>	<p>野洲市パブリックコメント手続実施要綱の規定により、市民が計画等の原案に対する意見等を提出するために必要な期間を勘案し、1箇月程度としていますので、当該見直し(案)においては、20日間で意見等を提出する期間を十分有していると考えます。訂正につきましては、路線図中のバス停一覧表に一部記載されていないバス停があったことが判りましたので、2月2日にはホームページ及び市役所本館情報公開コーナーを、2月3日には各閲覧場所の書類等を訂正しました。なお、路線図は正しく表記しており、路線の見直し(案)には影響はありません。</p>
⑫	<p>具体的な問題で意見を出します。</p> <p>24ページの中央循環コースですが、右回りのみとなっており、永原の方はイオンに買い物に行く方は活用できません。これまでは左回りもあり、利用可能でした。この点は、30ページの祇王・中里コースが出来たことにより、イオンまでの買い物に行くことが出来、中央循環コースでなく、祇王・中里コースを利用できるようになり、利便が図られます。しかしながら、行きはいいのですが、イオンからの帰りは、乗り間違えると大変なことになります。</p> <p>永原に帰りたいのに、中央循環コースや祇王・中里コースならいいのですが、あやめコースのバスに乗ると、野洲駅まで行ってしまふこととなります。高齢者にとって行き先だけの表示では、乗り間違えます。この点をバスの色を変えるなど、一目でわかる工夫が必要です。これから70代、80代、90代の方が利用されるバスと言うことを基準にされたい。</p>	<p>今回の見直し案では、路線再編の考え方に基づき、運行本数の増便を優先に、右回り左回り双方向を1台で保持することは困難なため、右回りのみの案としていましたが、ご意見の利用者の乗り間違え、公益性のある施設への利便性を勘案し、右回り左回りの運行に変更します。</p> <p>なお、ご意見の乗り間違え防止のため、バス車両の色の変更については、経費削減のため基本リース車両としており、白の車両に色分けしたコース名を表示しています。今後、車両へのコース名の表示を大きく変更するなどの対策を検討します。</p>
⑬	<p>今回運行ルートだけのパブコメであり、ダイヤについては次回の問題となりますが、近江バスとの関係もあり、ダイヤについてもパブコメをされることを求めます。</p>	<p>コミュニティバスは、公共交通の基本である路線バスを補完するものとして、空白地、空白時間帯を運行しています。</p> <p>ダイヤ編成については、それらの前提のもと、路線とバス停、一日の運行時間内で乗継ぎなどを勘案し、最大限で安全・安心なダイヤ編成をしていますので意見を求めません。</p>

	意見の概要	市の考え方
⑭	<p>コミバスのバスの車種についても一考をお願いします。これまでも言ってきましたが、老人車を載せるスペースがないため、困っておられます。せめて老人車で利用できるバスの導入の検討をしてください。またワゴン車の為、車いすでは乗れないと言うことをききました。バスの規格から、高額になることも聞いていますので、車いすの方に対しての移動について個々の対策が必要ではないかと思えます。</p>	<p>三上コースを除き、バスの車両につきましては、利用状況を鑑み利用者ニーズに応えられるよう小回りができ、可能な限り細い道も安全で運行できるように車両を選定しています。老人車や車いすを利用される方については、これまでも運転手が乗車時にフォローすることで対応してまいりました。今後も誰もが利用していただけるように、乗車時における運転手のフォロー等の対応をしていきたいと考えています。</p>
⑮	<p>高齢になれば、目、耳、肢体、すべて障がい者の状況です。現時点で障がい者の方の声をよく聞いて対応をしてください。2025年問題は待ったなしです。誰もが病気になりたくもなく、老化による体力の衰えを受け入れたくありませんが、着実に迫りくる高齢化に対して、コミバスは健康を維持するために必要な外出手段です。</p> <p>現在、利用している方のアンケートを取られていますが、障がい者の方がどこを改善すれば利用できるのか、調査をしてください。駅までの時間の短縮だけをキーポイントに業者まかせにせず、総合的な検討を市の他の課とも情報共有をしてまとめてください。</p>	<p>利用者アンケートでは、障がい者の方も対象にご意見を伺っており、把握した意見等を総合的に勘案して再編案を検討しています。再編後の利用状況を注視し、障がい者の方をはじめとした皆様の意見を踏まえつつ、市の他の課と連携を図りながら、必要に応じて、路線網の改善を検討していきます。</p>